

<特色ある学校宣言文>

夢と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動する生徒の育成を目指し、地域とともに育つ学校づくり

所沢市立狭山ヶ丘中学校「学校だより」 — 令和5年4月 —

URL : <http://www.tokorozawa-stm.ed.jp/sayamagaoka-jh/>

[学校教育目標]



狭中だより

『自立と共生』

校長 石原 健

本年度も“はじめに子どもありき”を経営理念とし、目指す学校像には「人と人とが交わり、心の交流が実感できる温かな学校」を掲げ、全ての教職員で、全ての生徒を全力で育ててまいります。変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

入学式 式辞

うらかな春の光が降り注ぐこの良き日に 来賓として狭山ヶ丘中学校PTA会長平岡 慎太郎(ひらおか しんたろう)様、並びに多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、所沢市立狭山ヶ丘中学校 第44回入学式 を盛大に挙行できますことに御礼申し上げます。

149名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの引き締まった表情は決意に満ち溢れており、とても頼もしくそしてそれを嬉しく思います。

新入生の皆さん、今の心境はどうですか？これから始まる中学校での生活に期待と不安が入り混じる中、今日は登校してきたものと思います。いよいよ今日からは中学生です。そして狭山ヶ丘中学校の仲間の一人です。今日はその記念すべきスタートの日、一緒に夢の実現に向け頑張っていきましょう。

保護者の皆様 本日はお子様のご入学 誠におめでとうございます。成長したお子様の制服姿に感慨もひとしおのことと存じます。教職員一同、お子様の能力を最大限に引き出すことができるよう全力で支援してまいります。

さて、本校の学校教育目標は、「自立と共生」です。

自立とは、「自分のことは自分でできる」という意味もありますが、私は「自分ができないこと、助けてほしいことを、素直に他人に言え、助けを求められること」だと考えています。

共生とは、社会の一員として力を合わせ、社会をより良くしていく力。他者との違いを受け入れ、認め合い、共に力を合わせて生きていくことです。そこで、皆さんにこれからの中学校生活を有意義かつ充実したものにするために二つのアドバイスを送ります。

一つ目は、「中学校卒業後もずっと付き合っていける友達を見つける」ということです。

これから始まる中学校生活は、勉強、部活動、行事など多くの友達たちと協力しあい助け合いながら同じ目標に向かって努力していく場面がたくさんあります。そういった場で感動を分かち合った友達との絆を強く強力なものにし、そして、その絆をこれから先もずっと繋ぎ続けていける友達を見つけてください。この先、君たちが困った時、そういった友達こそが君たちを色々な場面で支えてくれるはずです。

二つ目は、「失敗を恐れず色々なことに挑戦する」ということです。皆さん、「自分の良い所は」と聞かれて、いくつ挙げられますか？いくつも頭に浮かぶ人、あまり浮かばない人、それはそれで構いません。しかし、皆さんには自分では気が付かない良い点や優れた点が沢山あります。それは、この3年間、色々なことに挑戦することで発見できるはずです。挑戦しなければ、成功も失敗もありませんし、新たな発見なんてありません。自分の可能性を信じてチャレンジしてください。

皆さんが、以上の二つを胸に一日も早く学校生活に慣れ、友達や二年生、三年生と学び合い、高め合って成長していってくれることを期待しています。

結びに、本日ご来賓の方や多くの保護者の皆様のご臨席賜り、厳粛の中にも盛大に入学式を挙行できましたことに改めて感謝申し上げますとともに、今後の子供たちの健全な成長にむけ、皆様のお力添えを心よりお願いいたします。校長の言葉といたします。

生徒の活躍を紹介します。ご協力ください。

本校では、生徒の活躍の様子をホームページや各種便り等で写真や作品を紹介しています。不都合がある場合には、教頭(奥野木)までお申し出ください。ご理解ご協力をお願いいたします。